

# 令和5年度 第1回 帯広市行財政改革推進委員会 議事要旨

日時：令和5年10月10日（火）16時00分～17時10分

場所：帯広市役所 10階 第3会議室

## □ 出席委員

岩本博幸委員長、相内宣人委員、岩崎優子委員、河西智子委員、坪沙代委員、三品幸広委員

## □ 事務局

総務部 河原職員監

総務部 組織人事室 人事課 藤芳課長、奥秋行政改革主幹、林人事・行革係長、砂岡主任補

## □ 傍聴者等

報道関係者1名

## □ 会議次第

- 1 開会
- 2 委員照会
- 3 本委員会について
- 4 議題
  - (1) 委員長の選任及び委員長職務代理者の指定
  - (2) 帯広市行財政改革計画の取組状況について
  - (3) 次期帯広市行財政改革計画の策定について
  - (4) その他
- 5 閉会

## □ 議事概要

発言者	時程	内容
事務局	16:00	これより、令和5年度 第1回 帯広市行財政改革推進委員会を開催する。 本日、委員全員の出席をいただいているため、帯広市行財政改革推進委員会設置要綱第7条第2項の規定により、会議が成立していることを報告する。 (事務局挨拶、会議趣旨説明、資料確認、委員紹介、事務局紹介)
事務局		本委員会について説明する。 本委員会では、事務局より資料の提示や取組状況などを報告し、各委員よりご意見をいただき、今後の取組に反映させていく。 なお、今期は令和5～6年度に、次期帯広市行財政改革計画の策定作業があるので、こちらについてもご意見をいただきたいと考えている。

事務局	議題(1) 16:15	<p>初めに、(1)委員長の選任及び職務代理者の指定を議題とする。</p> <p>設置要綱の第6条第1項の規定により、委員長は委員の互選により定めることとなっている。委員長の選任について、意見はないか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>事務局から補足すると、前回任期では帯広畜産大学の岩本博幸委員にご就任いただいていたので、引き続き、岩本委員にご就任いただいております。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、委員長は岩本委員に決定する。</p> <p>今後の議事については、設置要綱第6条第2項の規定により、委員長が議長を務めることとされているので、岩本委員長に進行をお願いします。</p>
委員長		<p>(委員長から挨拶)</p>
委員長		<p>引き続き、議事を進行する。</p> <p>委員長職務代理者の指定については、設置要綱第6条第3項の規定で、委員長が指定することとなっている。</p> <p>委員長から、岩崎優子委員を職務代理者に指名する。</p>
事務局	議題(2) 16:20	<p>続いて、(2)「帯広市行財政改革計画の取組状況について」を議題とする。事務局から説明されたい。</p> <p>(資料2・3に基づき、取組状況について説明)</p> <p>説明は以上である。</p> <p>委員の皆様には、計画の進捗及び成果について、忌憚のないご意見を頂戴いただければと考えています。</p> <p>ただいまの事務局からの説明に対し、意見や質問があれば発言願う。</p> <p>学校給食センターの民間委託を当面やめて、直営にて運営することとなった理由は何か。</p> <p>調査の結果、民間委託にかかる経費が直営より高くなるため、民間委託の必要はないと判断し、当面は直営による運営を行うこととなったもの。ただし、今後の社会情勢等を鑑みて再検討することになっている。</p> <p>RPA 活用により削減された作業時間が令和3年に比べ2.5倍ほど増えているが、RPAを活用した作業は何か。</p>
委員長		
委員		
事務局		
委員		

事務局	<p>具体的作業については様々なものがあるが、単純作業など自動化できるものについて、RPA を活用している。</p>
委員	<p>指標2「月間の時間外勤務時間が45 時間を超えた職員の数」について、令和3年度より人数が増えているが、総時間数も増えているのか。</p>
事務局	<p>臨時的な業務が増えていることもあり、全体としても増えている。</p>
委員	<p>選挙のある年は時間外勤務が増えてしまうのか。</p>
事務局	<p>選挙は開催回数によっても変動するため、大きな増加要因の一つと言える。ただ、新型コロナウイルス感染症に係る業務、マイナンバーに係る業務など、以前はなかった業務が増えていることも時間外勤務の増加につながっている。</p>
委員	<p>当社でも市と同様に便利なツールを導入するが、それ以上に業務が増えてきており、結果として働く時間が増加傾向にあるため、悩んでいる。</p>
委員	<p>突発的な業務に係る時間外勤務の時間数は別管理できないのか。</p>
事務局	<p>別管理はしているが、公表は全体の時間数としている。 また、毎年突発的な業務が発生している状況であり、様々な業務改善を行っているが、時間外勤務は減っておらず、全体の時間数が増えているためなかなか原因を分析できていない状況である。</p>
委員	<p>北海道庁では、災害対応等は別カウントで時間数を集計している。 市の職員数はどのようになっているか。</p>
事務局	<p>特に技能労務職員が減っており、正職員数は減ってきている。その反面、会計年度任用職員は増えており、職員数全体では変わっていない。</p>
委員長	<p>時間外勤務について、除雪業務など突発的な業務として切り分けできない部分もあるのは理解できるが、マイナンバーに係る業務や選挙事務など、可能なものは切り分けて公表すると市民の理解は深まるのではないか。 また、特定の部署が忙しいのか。</p>
事務局	<p>特定の部署が忙しいという現状はある。政策推進部門では、予算編成時期が忙しいのは毎年のことであり、部署によって時間外勤務の状況に差が生じている。</p>
委員長	<p>突発的な業務に対し人員を確保できればいいが、コストを考えるとなかなか難しいだろう。しかし、突発的な業務が定常化してきている状況であるため、今後、検討は必要と感じた。</p>

委員	まだ指標の目標値を達成できる可能性はあるのか。
事務局	難しいが、可能性はまだ残っている。
委員長	RPA 化が進んでいる中、時間外勤務を行っている職員が増えているのは、やはり、効率化を進めている以上に業務が増えているのか。
事務局	先程も申し上げたが、毎年、突発的な業務が発生している。また、新しい業務は増えるが、既存の業務を減らすことが難しいため、そのような状況となっている。
委員長	市民にそのような背景を理解してもらい、市民と問題意識を共有していくことも大事。
委員	指標1「まちづくりのために、有効に税金が使われていると思う市民の割合」の調査手法を教えてほしい。次期計画の指標にするのであれば、参考にしたい。
事務局	次期計画の指標が現計画と同じになると決まっているわけではないが、調査は毎年行っているまちづくりアンケートの一部として実施している。後日、資料を整理してお渡しする。
委員長	まちづくりアンケートの中で調査をしているのであれば、指標を変更することは難しいが、アンケートに答えてもらうタイミングで適切に判断することのできる材料を提供してあげる必要があると感じた。
委員	指標を変更することは現状では難しいが、税金に「国、道、市」の区別があることの理解が浸透していないこともあるため、税金が高いというイメージだけで回答される可能性もあり、指標として難しいように感じる。
委員長	まず市の取組を発信し、幅広い情報を届け、そのうえで様々な側面から評価してもらう仕組みをつくる必要があると感じた。 帯広市としてはRPAやWebex等ICTツールの導入を行っているが、既存のパッケージシステムを活用していくのか、市独自でシステムを構築していくのか、方向性は決まっているのか。
事務局	基本的には市販されているものを導入していく。評価が定まっていないものを導入することはコスト面でのリスクが高いため、ある程度成果が出ているものを導入していくこととしている。導入する際はベースがしっかりしているものとし、オプションで変更できるとしても最小限にしている。 全国的にはシステム標準化が進められているため、今後はそのような動きもできると考えられる。

委員長		他に意見等はないか。  (意見等なし)
委員長	議題(3) 16:45	意見がないようなので、この議題については、これで終了する。
事務局		つぎに、(3)「次期帯広市行財政改革計画の策定について」を議題とする。 事務局から説明されたい。  (資料4 について説明)
委員長		ただいまの事務局からの説明に対して、意見や質問があれば発言願う。
委員		次期計画では指標が変わる可能性があるが、時間外勤務に関しては今後も厳しい状況が続くと感じる。定年延長の話も相まって、相対的に若い職員の減少が見られ、最近だと中途退職者が多く、職場への影響が大きい。効率化による時間外勤務の縮減を試みているところであるが、難しい状況が続くので、指標の設定の仕方など正しい評価をできるようにしていきたいと感じた。
事務局		たしかに、中途退職者が増えている。また、採用も厳しい状況になってきており、民間に留まらず、行政にもその波が来ている。時間外勤務についても、対策をしないと職員を確保することができなくなってくるだろう。 行財政改革の取組についても、打つ手が少なくなっている状況で、次期計画についても難しさを感じている。 また、コミセンの分室機能などもデジタル化（マイナンバーの普及）の流れによって、サービスの見直しが必要な状況か検討する必要がある。
委員長		DX（デジタルトランスフォーメーション）がカギとなっている。総合計画との兼ね合いもあると思うが、市民サービスの変化に合わせた計画とする必要がある。また、今後、国のシステム標準化が進められるため、動向を注視して、上手く活用して行ってほしい。うまく取り込めるのであれば、計画に盛り込んでもよいと思う。 成果指標については、より多面的に評価できるものにした方が、上手くいっているかどうかの判断材料にしやすいだろう。
委員		効率的に市政を運営するためには優秀な人材が必要だが、これから市役所で活躍しようと思っている方もこの計画を見ていると思う。今の指標だと、有効に税金が使われていないと感じている市民がたくさんいることや、時間外勤務が多い職場であると認識されてしまい、残念である。効率的な市政運営を行っていくためにも、優秀な人材確保の側面も意識して計画策定や人材育成を行っていただきたい。

委員長	<p>効率化は業務を減らしていくことをイメージしがちだが、導入の仕方次第で利用者のバリアフリーに資するなどの付加価値も生まれる可能性もある。</p> <p>また、次期計画を策定するうえでは、総合計画との兼ね合いもあると思うが、効率化を進める上でのベースとなる視点が必要である。例えば、SDGs のようなものをベースとして、それに沿うような形で効率化を目指すを受け入れやすいように感じる。</p> <p>さらに、産業や人口の変動などの社会情勢を踏まえて計画を立てる必要がある。それらを踏まえ、継続して取り組むと判断されている項目についても、軌道修正を行っていく必要があると感じた。</p>
委員長	<p>他に意見等はないか。</p> <p style="text-align: right;">(意見等なし)</p>
委員長	<p>意見がないようなので、この議題については、これで終了する。</p>
事務局	<p>つぎに、(4)「その他」を議題とするが、事務局から何かあるか。</p> <p style="text-align: right;">(特になし)</p>
委員長	<p>特に無いようなので、この議題については、これで終了する。</p> <p>最後に、全体を通じて、各委員から意見等はあるか。</p> <p style="text-align: right;">(意見等なし)</p>
事務局	<p>特に無いようなので、事務局より連絡事項をお願いする。</p> <p>次回の開催時期については、令和6年2月頃を予定している。時期が近くなり次第、別途、ご案内させていただきます。</p>
委員長	<p>皆様からいただいた意見を活用して、議論を深めていきたいと思う。</p> <p>以上をもって、本日の議事は全て終了する。 (以上)</p>